

ど)を、母親と一緒に歌うところまで発達します。三才半を過ぎると、生後この頃まで急激に発達した聴覚を通しての発達は、ゆるい斜面を登るように、静かな発達に変わるようです。しかし三才半過ぎからは、ソルファ(移動による階名)と旋律が結びついて歌えるようになりますが、このことから読譜や演奏などの教育ができる年令に達したとは断定できません。

日本が生んだ世界的なヴァイオリニスト、江藤俊哉氏が三才児であった頃、ソナタやシンフォニーなどのレコードを(どうして選びだすのかわからないとの御尊父の言)自分で持ってきて、かけて欲しいと欲求したそうです。三才半以後は純粋器楽曲を追々と好むようになります。酒田富治先生も先生の御嬢様の事例からシンフォニーなどを鑑賞曲として与えるのが良いと述べていられますが、特別な音楽的環境に恵まれた場合や、才能の優れた人の場合に、本人がそのような曲を望むこともでてくると考えられます。この

状態は理想的なものです。一般的にこの年令ではリズムやハーモニーの簡単な構成による楽曲を与えるのが、幼児の興味や発達に即したものと見えましよう。

以上、できるだけ具体的に乳幼児の発達を六つの段階に分けて述べてみました。現在まで私が接した文献では乳幼児の音楽的な発達を細かく具体的に示されたものがありませんでした。ため、一応自己流ながら試みた次第です。心理学者の説によりますと、人間の耳の最も良い時期は三才までであるといわれています。私の観たのもこの説に合っているようですが、このような事例研究がさらにどなたかの手によって、より多くだされることと、不備な私の研究を補い、かつ指導していただきたく望んでおります。最後にこの私の研究は、すでに故人となりました元大阪市立大学教授中西昇先生から、心理学者としての多大の御指導と助言を賜わって完成しましたものです。先生への感謝を新たにしつつ稿を閉じることに致します。

〔大阪市立大学〕

幼児の教育 第六十四巻 第七号

七月号 © 定価六〇円

昭和四十年六月二十五日 印刷

昭和四十年七月 一日 発行

東京都文京区大塚町三五

お茶の水女子大学付属幼稚園内

編集兼 津 守 真
発行者

東京都文京区大塚町三五

お茶の水女子大学付属幼稚園内

発行所 日本幼稚園協会

東京都板橋区志村町五

印刷所 凸版印刷株式会社

東京都千代田区神田小川町三ノ一

発売所 株式会社 フレーベル館

振替口座東京一九六四〇番

◎本誌御購読についての御注文は発売所フレーベル館にお願いいたします。